

安心・安全に滞在でき、みんなが住みたいまち

ユニバーサルなまちづくり — 特定非営利活動法人ウィズアス —

障害がある人の自立生活をサポート シェアハウス「Re-Smile」

特定非営利活動法人ウィズアスは、阪神淡路大震災の経験を通して「生まれ育った町でごく当たり前に暮らしたい」という障害のある仲間たちの思いを原点到、平成14年に設立された。デイサービスや作業所を運営する中で、日中活動の支援だけでなく、自立に向けた取り組みの一つとして、平成26年にシェアハウス「Re-Smile」を神戸市長田区に設立した。

ここでは時間に縛られることなく、食事や風呂、外出など入居者は思い思いに過ごす。外出介助やヘルパーなどのサポートは、本人が必要ときに受けることができ、フリースペースで各々が持っている地域の情報を交換している。

また、地域交流の場として月1回「ちいきCafe」を開催。カフェとしてのメニュー提供

のほか、デイサービスで製作した雑貨や丹波地域の新鮮野菜の販売、フ



自立生活の拠点
シェアハウス「Re-Smile」

リーマーケット等、入居者が各々で考案した内容を皆で相談しながらつくり上げる。他にも地域のボランティアによる「おかん食堂」を開店し、地域のたくさんの方々と交流を深めている。

神戸ユニバーサルツーリズムを 県内へ、全国へ

同法人の事業の一つである「神戸ユニバーサルツーリズム」では、障害のある当事者がサービスを受ける側でなくサービスを提供する側に戻ると、旅行のお手伝いを行っている。具体的には、年間1000台近くの利用がある「KOBED」でも車いすの貸し出しや、車いす利用のスタッフによる「コンシェルジュ」の取り組みを通じて、当事者ならではの目線で車いすでも利用しやすい道や店、エレベーターやトイレの場所などを案内している。加えて、障害のあるスタッフが取材を行って記事を書き、スムーズに観光を楽しめる情報誌「ひと」を発行している。

ツーリズムの利用者が年々増加してい



ツーリズムから「まちづくり」
「車いすコンシェルジュ」

る状況を踏まえて、「障害者や高齢者が訪れて、安心・安全に滞在できるまちは、誰もが住みたいまちであり、ツーリズムはまちづくりだ」と鞍本理事長は語る。現在は淡路地域の取り組みに力を入れており、今年度は姫路と城崎に広げ、さらには県内6つのエリア（神戸・淡路・姫路・城崎・篠山・宝塚）が連携したモデルをつくって全国へ発信していきたいと考えている。

中間支援団体の役割は ネットワークをつなげること

上記2つの実践に加えて、中間支援事業や生きがいしごとサポート事業は3年目に入った。「団体や個人がもつ悩みは、一つだけでは解決できない。地域のネットワークで解決することができると。そのネットワークをより広げる役目が、中間支援団体の役割だと、鞍本理事長は力強く話してくれた。

特定非営利活動法人ウィズアス

所在地 神戸市長田区水笠通4-1-12-2F
TEL 078-642-0799
URL <http://npo-withus.org/>
神戸ユニバーサルツーリズムセンター
TEL 078-381-6470